

2026年4月28日

株式会社朝日ネット

(コード番号:3834 東証プライム)

「AsahiNet 情報科学センター」が始動

舞鶴高専にてオープニングセレモニーを開催、次世代の情報科学教育の拠点へ

株式会社朝日ネット(東証プライム、本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:小松 大)と、独立行政法人国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校(所在地:京都府舞鶴市、校長:林 康裕、以下「舞鶴高専」)は、ネーミングライツ契約に基づく新愛称の運用開始を記念し、2026年4月16日、舞鶴高専にて「AsahiNet 情報科学センター オープニングセレモニー」を開催いたしました。

■ 新拠点の船出を祝し、セレモニーを挙行

本セレモニーは、両者のパートナーシップの象徴である「AsahiNet 情報科学センター」へのリニューアルを記念して行われました。会場には関係者が集い、新たなサインの披露とともに、未来の情報科学教育に向けた決意を新たにしました。

オープニングセレモニーでは両代表者が登壇し、同センターの未来に向けた決意を語りました。舞鶴高専の林校長は、同センターが本校の教育・研究において担う中核的な役割について触れ、「情報科学教育および地域ICT教育をさらに充実させていきたい」と熱い思いを述べられました。続いて、当社 代表取締役 社長執行役員の小松は、新しく掲げられた「AsahiNet 情報科学センター」のサインに込めた想いを語りました。また、未来の情報科学を担う学生たちがこの場所で学び、成長していくことへの強い期待を寄せるとともに、技術革新の最前線に立つ次世代へ向けて温かいエールを送りました。

両代表者による挨拶の後、新センターの輝かしい門出を祝してテープカットが執り行われ、和やかな雰囲気の中で記念撮影が行われました。

■ 施設内覧会の実施

式典終了後には、新愛称を冠して再スタートを切った「AsahiNet 情報科学センター」の施設内覧会が行われました。内覧会では、学生たちが日々活用する設備や、集中して勉学に取り組める学習環境が公開されました。情報通信の未来を支える拠点として、その充実した設備と教育環境の意義を改めて共有する貴重な機会となりました。

当社と舞鶴高専は、本センターを通じて、ICT人材の育成と地域社会の発展に貢献してまいります。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社朝日ネット 人材開発室

TEL:03-3541-1900

E-mail:hr_at_asahi-net.co.jp(_at_を@に変換してください)